

資料4

TK - 850 揚液 HAZOPまとめ表

ノード名	リコメンド	指摘事項	担当部門	検討結果
揚液	1/3	気液分離器作動不良によりメタノール噴出	タンクヤード課	試運転時確認、弁の点検を確実に実施
送出	2/3	スタート時のタンク底板、側板の鉄、鉄さび混入により、ユーザー側で濃縮、爆発の危険性あり	タンクヤード課	使用開始前には十分な清掃を行うとともに、定期的に当分の間分析を実施。また、初期の送り出しはカートリッジフィルターを架設して対応する。 厳しいユーザーには自前でフィルターを設置してもらう。
出荷	3/3	船出荷時の対応として、PCVの追従性を確保して空気の吸い込みを極力なくすこと。 またBz弁不調時でもタンクペコを起こさせないこと。CV開度SEQ化、Exa化などを。	タンクヤード課	出荷時は決められたプログラムにより流量制御を行い、最初から大量に出荷させない。 また、SEQを活用してスタート時は前もってPCV開度を多く開けて対応する。